

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号) 企業・団体名 (リコージャパン株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			・リコーグループ行動規範に「一切の差別を排除する」旨を明記し推進している ・全社員に行動規範教育を定期的に実施(eラーニング)					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			・ハラスメント排除を、行動規範に明記している ・全社員に行動規範教育を定期的に実施(eラーニング) ・社員相談窓口＝ホットラインを設けている					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8									16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			・日々の出退勤報告とPCログをベースに日々勤務時間を集計している ・上長・本人がいつでも勤務時間を把握できる仕組みがある。さらに累積増加で警告がある							8.5 8.8										
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			・リコーグループ行動規範に「一切の差別を排除する」旨を明記し推進している ・社員相談窓口＝ホットラインを設けている				4.4			8.7 8.8		10.2 10.3								
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・事業所に安全衛生委員をおいて定期的にミーティングと情報発信を行っている ・5S活動の展開による安全基盤の構築。			3				8										
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			・メンタルヘルスに関する具体的な進め方を整備・組織職に対する研修を実施している ・メンタルヘルスに関する休職規定を整備している			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・リコージャパン DEI宣言をHPで公開し取り組みを進めている ・女性活躍推進法に基づく優良企業として「えるばし」の最高位の取得 ・「子育てサポート企業」として、「プラチナくるみん」の取得 ・全組織長がイクボス宣言を実施 ・県の「社員子育て応援宣言」登録 ・女性管理職候補育成制度 ・在宅勤務柔軟な勤務体系の導入で働き方改革を推進					5.1 5.5		8.5		10.2 10.3								
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			・社職務や役割に応じた研修体系を整備している。（キャリアデザイン・専門スキル強化プログラム ・マネジメント強化プログラムなど） ・全社員プロ化に向けた認定制度を整備している				4	5.5		8	9									
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			・職場いきいきアドバンスカンパニー認証を取得					5.5		8.5		10.2 10.3								
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・健康経営の推進に向けトップによる健康宣言を表明 ・「健康経営優良法人2025(大規模法人部門)」認定			3				8										
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			業所で分別を適切に行い、マニフェスト伝票により廃棄物の種類・量を把握している。 ・ながのエコ・サークルのゴールドランク認定を受けている(平成15年度～)											11.6	12.4		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			・「EMS測定DB」で毎月報告を行い、全社で集計・把握を行っている ・長野支社独自の数値も再度集計を行っている							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			・RJとして、2050年までの脱炭素目標およびロードマップを設定 ・「EMS測定DB」で毎月報告を行い、全社で集計・把握を行っている ・事業者内の照明のLED化、空調設備の更新により抑制効果が出ている							7.2 7.3				12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			・リコーグループとして、化学物質管理に関する基本方針、リコーグループの土壌・地下水汚染に対する基本方針を立てて取り組んでいる		3.9				6.3					11.6	12.4					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 （必須）			・リコーグループとして生物多様性方針、リコーグループ製品の原材料木材に関する規定、用紙調達方針を設定して地球の再生能力の維持・向上に取り組んでいます ・TNFDのフレームワークに沿って、リコー環境報告書にて情報開示している ・【予定】「アフアンの森保全活動」に参加する						6.6								15			
16		【3 Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 （必須）			・持続可能な社会実現のためコンセプト「コメットサークル」制定 ・複合機のリコンディショニング機の販売 ・使用済みパーツの回収リサイクルシステムを導入 ・ながのエコ・サークルのゴールドランク認定を受けている（平成15年度～）										12.5		14.1					
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・リコーグループとして水資源に関する方針を設定して水資源課題の解決に取り組んでいます						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ （任意）			・ISO14001を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ （任意）			・サステナビリティレポートで開示している ・TCFDのフレームワークに沿って、環境報告書にて脱炭素社会に向けたリコーグループの取組みについて報告しています。											12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・リコージャパンは2030年までに再生可能エネルギー比率100%を目指します。 ・長野県内5事業所において再エネ電力に切り替えている							7.2										
21	公正な事業慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・非法材材を使用しないサプライの使用を推進している ・事業として木質バイオマス、太陽光発電などを提案・提供している												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備 ・全社員がeラーニングによる教育を受講している																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			・不正競争に関与しないことを「リコーグループ行動規範」に明記している ・全社員がeラーニングによる教育を受講している																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 （必須）			・リコーグループ行動規範に「知的財産の適切な保護と活用に努める」を明記し推進している							8.2 8.3		9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 （必須）			・「リコーグループ個人情報保護基本規定」「リコーグループ個人情報取扱 基本規定」を定めている ・個人情報を保護のため、その取り扱い方針を定め、ハンドブックの作成・携帯及び社員教育により周知し実践している																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ （任意）			・リコーグループ 責任ある鉱物調達方針を定めて取り組んでいる																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			リコーグループ購買活動の基本的な考え方、リコーグループ サプライヤー・パートナー行動規範、調達ガイドラインを定めて取り組んでいる					5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 （必須）			・パートナーシップ構築宣言を作成・公表している			3					8	9	10							17

項目番号	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・製品・サービスの安心・安全な稼働のために、県内全拠点で保守体制を整えている			3.9									12.4						
30	製品・サービス 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・製品提供後の活用度向上、お客様の声を聴く活動として”フォローアップ 活動”を体系化している ・アプリ・ITインフラ系の高額案件については”SQM (solutionQuality Management)”を回している ※提案前、受注前検討会、3か月後満足度調査 ・お客様の声を聴く仕組みとして、定期的にCS調査を実施している									9									
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・環境マネジメントシステムを構築し、製品・サービス使用時のCO2排出量 削減や使用後の資源活用、そして脱炭素化を進めるための社会インフラ 事業にも積極的に取り組んでいる						6						12	13	14	15			
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・事業で取り組む”4つのマテリアリティ”を設定し、それを実現する製品・サービスの提案、提供に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			・地域企業に自社の働き方改革及び環境オフィスづくりの実践を紹介している ・定期的にCS調査を行い、地域ごとに集計・市場の声を集め営業活動 に反映している				4					9		11	12		14	15		17	
34	地域貢献・社会貢献 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・【予定】里山保全＝アファンの森保全活動への参加 ・寄付を行っている ・フードバンクで食料品、ありがとうプロジェクトでは日用雑貨を収集し寄付 ・社会貢献クラブ・FreeWillへ参加。寄付や教育支援プロジェクトを展開 ※給与賞与の端数を寄付、翻訳シールを貼った絵本や算数教材の寄贈				4							11			14	15		17	
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ (任意)			・自治体・民間企業に対して木質バイオマスボイラーやマイクロ水力発電設備の提案活動を展開しています。								8	9		11	12	13					
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本 (必須)			・経営理念を明文化している・経営者が、遠隔会議やビデオ作成により全社員に説明・共有を図っている								8	9								17	
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			・行動規範及びリコーグループスタンダードに法令順守を明記し、年1回の eラーニングや毎月実施のCSRセルフチェックで社員への浸透を図っている ・法令・社内ルールの順守確認などを目的とした内部監査を実施																16		
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			・経営企画本部にESGセンターを組織して、事業とSDGs/ESGの同軸化を掲げて、社会課題解決・SDGsへの貢献を目指している																	16	
39	組織体制 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 (必須)			・販売代理店とリコー会を組織し対話の機会を設けている ・定期的にCS調査を行い、地域ごとに集計・市場の声を集め営業活動 に反映している																16	17	
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			リコーグループではリスクマネジメント原則を含む「経営管理基本原則」と「リスクマネジメント基本規程」を定め、内容の周知徹底を図っている																16		
41	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			「リコーグループ行動規範」をベースにCSR活動を行っている。 ・年1回、サステナビリティレポートを発行。ホームページでも公表している																16		
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			・リコーグループとして「BCP(事業継続計画)」を構築している ・安否確認システムの導入。防災ハンドブックを社員へ配布し定期訓練実施している									9		11		13 13.1			16		
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			・人事・コーポレート本部で、中期、短期における人材・組織戦略の立案、推進を行っている								8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
SDGs/ESG視点でお客様の課題に伴走し、解決策を提示している。		・定期的にESG視点で企業の課題を可視化するウェビナーの実施やESG軸での取り組みが整理できるツールを活用し、企業の課題に伴走支援している。 ・企業・自治体にZEB2事業所を公開し、脱炭素化の事例を紹介している。							7	8					13				

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定